

新 PU 素材搭載でスポーツ・ランニング障害の軽減に配慮した

ランニングシューズの第三弾

“走るリカバリーシューズ”「MEDIFOAM」の 2019 年春夏モデル登場

2019.01.09

～優れた衝撃吸収、反発弾性、耐久性に加えて、スペックアップで絶妙なホールド性を実現！～

アキレス株式会社(本社:東京都新宿区、社長:伊藤 守)は、自社開発の新ポリウレタン(以下PU)素材・「MEDIFOAM(メディフォーム)」を搭載し、新発想の“走るリカバリーシューズ”として市場に浸透中のランニングシューズ「MEDIFOAM」の2019年春夏モデルを1月中旬より全国のスポーツ専門量販店・スポーツ専門店および靴専門店、有名ECサイト、アキレスウェブショップ(<http://achilles-webshop.com/>)にて本格発売を開始いたします。

日本のランニング人口は1千万人規模といわれる中、ビギナーの半数以上が1年以内にやめてしまっているのが現状です。原因は自己流で頑張りすぎて膝や腰などを痛めてしまうこと。「MEDIFOAM」はこのスポーツ・ランニング障害の軽減に配慮し、“走るリカバリーシューズ”という新発想のコンセプトで走る楽しさを支えるランニングシューズです。プラスチック加工をコア技術とする素材メーカー「アキレス」が3年を経て開発したPU素材で、一般的にソールに使われているEVAに比べ、衝撃吸収性で約10%アップ、反発弾性で約50%アップ、耐久性(へたりにくさ)で約3倍を誇り、高さ10mから厚さ約30mmの「MEDIFOAM」シートに生卵を落とす実験でも生卵は割れずに5m以上跳ね上がる高いレベルのPU素材です。

最近、ランナーの間ではシューズを履き分ける傾向が強くなり、トップアスリートがリカバリーのために「MEDIFOAM」を練習で使う機会が増えています。また「MEDIFOAM」は順天堂大学の分析※によると1km5～6分で走った際に筋活動量が少なくなる傾向がうかがわれることからフルマラソンを3時間後半から4～5時間で完走するランナーのレース用としても使えます。2017年2月の発売開始以来、新発想の“走るリカバリーシューズ”というコンセプトと素材の持つ機能や履けば分かる足入れの良さにも定評をいただき、スポーツ専門量販店や百貨店での取扱いを拡大しています。

2019年春夏モデルのラインアップは4タイプ17色(MF 103は継続モデルで新色を追加)。価格帯は税別9,800円から13,000円。それぞれ使用素材を吟味しフィット感を向上させました。アッパー(甲)はシームレスな立体プリントを使用、柔軟性とつま先部の自由度を高めました。履き口はパッドのアレンジを変更し絶妙なホールド性を実現。結ばない靴ひも「CATERPY」とのコラボレーションモデル・MF 204ワイド(キャタピラン仕様)も登場します。踵部には反射体をあしらった夜間の使用にも配慮<MF 204ワイド(キャタピラン仕様)を除く>。今後もランナーとのタッチポイントを増やしていくため全国の百貨店やスポーツ量販店でのイベントを継続し、放映中の第2弾テレビCMも連動しブランドを盛り上げていきます。

※詳細データ、検証中。

MF[®]
MEDIFOAM

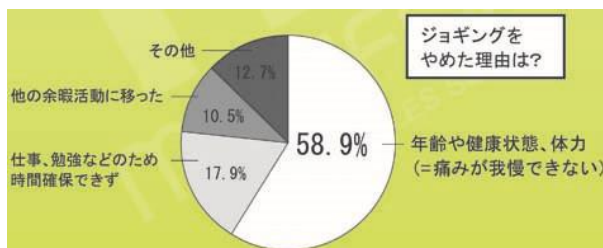


ランニングシューズ「MEDIFOAM」2019年春夏モデル

【シリーズ名、商品名、色】LSD W2、MF 203 ワイド、Tangerine(タンジェリン)【価格】9,800円+税【サイズ】22.5～29.0cm(ワイドラスト)

「MEDIFOAM」のターゲット市場

日本のランニング人口は1,000万人超。その中で1年以上継続できる人は少なく、多くの人々が自己流で頑張りすぎて膝や腰の故障が原因でやめてしまっていると言われています。



出典(公財)日本生産性本部「レジャー白書2013」

スポーツ・ランニング障害について

無理なランニングを繰り返すことは、下記のような膝、腰の障害が起こる原因となりえます。

◎ 踵骨端症(しょうこつこつたんしょう)

ジュニアアスリートに急増する症状。ランニングなど運動中に踵に繰り返し起こる衝撃による踵の痛み。

◎ オスグッド

膝下に炎症が起こり、痛み障害。球技など激しい運動をする中高生に多く見られます。

◎ シンスプリント(脛骨過労性骨膜炎)

十分な筋力が整っていない状態で激しい運動をしたときにおこる脛骨下の痛み。陸上競技の選手に多く発症。

◎ 椎間板ヘルニア

椎間板の一部が正常の椎間腔を越えて突出、腰痛や下肢の疼痛、しびれなどが起こります。

※その他のランニング障害として足底筋膜炎や疲労骨折、腸脛靭帯炎などがよく知られています。

「MEDIFOAM」とは？

Medical(医療の)とFoam(発泡体)を組み合わせた言葉で、衝撃吸収性、反発弾性、耐久性に優れた特性をもつ、アキレス自社開発のPU素材です。

「MEDIFOAM」素材のココが凄い！

驚きの、衝撃吸収性、反発弾性、耐久性！！

当社一般ソール素材(EVA)と比較して……………

・衝撃吸収性が凄い！！……………約10%UP!!

・反発弾性が凄い！！……………約50%UP!!

・耐久性(へたりにくさ)が凄い！！……………約3倍!!

上記データは、シート状素材の実測値であり保証値ではありません。

「MEDIFOAM」開発アドバイザー 藤原 新選手のTVCM内の「声」

2012年ロンドン五輪男子マラソン日本代表でプロランナーの先駆けである藤原 新(ふじわら あらた)選手は、国内外のメジャーレースで戦い続ける中で、自身のケガ予防の観点からランニングシューズ「MEDIFOAM」を練習で履きはじめました。「MEDIFOAM」の機能性とその可能性に興味を抱いたことを契機に2018年から開発アドバイザーに就任。2019年春夏モデルの開発にも藤原選手の科学的知見が活かされています。2018年11月から放映開始の「MEDIFOAM」新TVCM(NTV系列毎週月曜19:54-20:54「世界まる見え！テレビ特捜部」内)に登場しています。



「MEDIFOAM」新TVCM「高地篇」では藤原選手の合宿地の一つであるケニアのITEN(イテン: ウィルソン キプサングなど世界のマラソントップランナーを輩出している村)で撮影をしました。無名ではあるもののフルマラソンを2時間7分~10分で走る地元ITENのランナーを揃えてそのメンバーとともに赤土の大地を颯爽と走り抜ける藤原選手の姿が見所となっています。CM内では「ランナーとして大切なのはケガをしないこと。いま世界でもマラソンにおけるリカバリーシューズの重要性が高まっていると思います」と藤原選手がコメント。CMでは「走るリカバリーシューズ」という新発想」をキーメッセージとしました。

ランニングシューズ「MEDIFOAM」2019年春夏モデル

商品名	MF 103 ※新色	MF 204ワイド(キャタピラン仕様)		MF 203ワイド		
シリーズ名	RUNNERS HI	ADUCTOR2		LSD W2		
サイズ【ラスト】	22.5～29.0cm	22.5～25.0cm 【ワイドラスト】	25.0～29.0cm 【ワイドラスト】	22.5～25.0cm 【ワイドラスト】	22.5～29.0cm 【ワイドラスト】	25.0～29.0cm 【ワイドラスト】
色・柄の名称	Blue  Sun Red 	Gray  Purple 	Rainbow 	Pink  Lavender 	Tangerine 	Blue  Black  Yellow Green 
価格	9,800円+税	13,000円+税		9,800円+税		
発売時期	2019年1月中旬本格発売					
商品名	MF 106					
シリーズ名	LSD2					
サイズ【ラスト】	22.5～25.0cm		25.0～29.0cm		22.5～29.0cm	
色・柄の名称	Pink  Lavender 		Blue  Yellow Green 		Black  Tangerine 	
価格	9,800円+税					
発売時期	2019年1月中旬本格発売					
販売	全国のスポーツ専門量販店・スポーツ専門店および靴専門店、有名ECサイト、アキレスウェブショップ(http://achilles-webshop.com/)など					
「MEDIFOAM」 アッパー・ソール の3大機能	 <ul style="list-style-type: none"> 1 ヒールカウンター EVA カップインソール 2 ソルボセイン(衝撃吸収+圧力分散) EVA カウンター 3 MEDIFOAM ミッドソール(衝撃吸収+反発弾性+耐久性) ラバーアウトソール 					

※サイズ表記: 22.5～25.0cm=WOMEN'S、25.0～29.0cm=MEN'S、22.5～29.0cm=UNISEX

<お問い合わせは お客様相談室 まで>